

公開質問 食用油の原材料について

質問1 製品の原材料及び原産国、非遺伝子組み換えのものを分別生産流通管理されたものか不分別かについてお答えください。

製品	原料作物	原産国	遺伝子組み換え		使用開始時期
			分別	不分別	
AJINOMOTO さらさらキャノーラ油	ナタネ	主にカナダ、オーストラリア		○	J-オイルミルズ
AJINOMOTO 健康プラス	ナタネ	主にカナダ、オーストラリア		○	発足当初より (2004年)
	大豆	主にアメリカ、ブラジル		○	

質問2 遺伝子組み換えの原材料を使用している製品に関して、今後、非遺伝子組み換えのものに変更する予定はあるのでしょうか。予定の有無とその理由をお答えください。

☐有 ☒無

その理由 お客様への製品の安定供給を考えると、非遺伝子組換え農産物では油脂原料として安定した数量の確保が現実的に困難なためです。

質問3 分別生産流通管理済みの原材料について、その表示をする予定はあるのでしょうか。

回答: 現時点では表示する予定はありません。

質問4 消費者のなかには、遺伝子組み換えでない原材料を求める声もあります。今後、遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するには、どのような課題があるのでしょうか。

回答: お客様への製品の安定供給を考えると、油脂原料として非遺伝子組換え農産物の安定した数量を確保することが必要と考えます。

質問5 ゲノム編集由来の原材料が入手できるようになった場合、使用しますか。

☐ はい ☐ いいえ

その理由 安全性を考慮し慎重に対応すべきと考えており、今後の動向を注視しながら検討いたします。

質問6 気候変動等により原材料の調達で最も課題となっていることについてお教えてください。（例えば、干ばつによる収穫量の減少等、生産地の状況等）

回答: 干ばつなどの天候不順により、原材料の生産量減少と、それに伴う価格高騰のリスクがあります。また、高温により原材料の油分が低下するなど品質変化が起きた場合、製品の安定供給に必要な量を確保できない恐れがあります。物流においては、原産国における干ばつや紛争により輸送インフラの脆弱性が安定した供給を阻害する一因となることが懸念されます。

質問7 搾油後の油粕や搾油中に出る副産物はどのように利用されていますか。（例えば、肥料や家畜の飼料、バイオディーゼルの等）

回答: 油粕は、肥料や飼料として利用しています。食用油の精製工程で分離されるレシチンやトコフェロールは食品用途で、脂肪酸はボイラーの燃料用途で利用しています。

質問8 産地農場から輸出港、輸入港、貴社製造工場までの原材料の管理・輸送方法についてお教えてください。

回答: 原産国の輸出港から船で日本に入り、弊社工場サイロもしくは委託サイロに入荷します。

質問9 原材料トレーサビリティについて

主原料の入荷記録の保存	有	無
製品の出荷記録の保存	有	無
製造ロットと入出荷ロットの対応付け記録の保存	有	無